



北九州市長 武内 和久

つながりと情熱と技術で 「一歩先の価値観」を体現する グローバル挑戦都市・北九州市

生成 AI の進展や社会における価値観の多様化など、現代社会が目まぐるしく変化する中、北九州市においては、人口減少や少子高齢化などの困難な課題に直面するも、その課題解決に努めています。

私が市長に就任し、このような時代の変化に対応しながら一体となって課題解決に挑戦していくため、未来へ市民全体で進んでいく「羅針盤」となる新しいビジョンを策定しました。この中で、目指す都市像として、“つながりと情熱と技術で「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市”を掲げています。

「ものづくりのまち」として繁栄した一方で、激甚な公害を経験・克服した歴史を持つ北九州市では、国際的な取り組みの主なものとして、その経験から得た知見やノウハウをアジアを中心とした国々に広めるなど、環境分野での国際協力を積極的に続けています。

これまでの海外との交流など、人と人の「つながり」を大切にする人情や、多様性を受け入れる寛容性、一致団結して公害克服などの困難を乗り越えてきた「情熱」、ものづくりや環境の分野で培ってきた「技術」は北九州市の DNA として引き継がれており、激甚な公害を克服した例などを、世界に先駆けて体現してきた「一歩先の価値観」ととらえています。

北九州市は、「若者や子ども」には、「世界を夢見て挑戦し、活躍できる環境」を、「毎日の暮らしと人生」には、「彩りと安らぎをもたらすまちづくり」を目指して取り組んでまいります。このうち、「安らぎをもたらすまちの実現」においては、多様性を認め合い、外国人にとってその能力が発揮しやすい「外国人に選ばれるまち」になるために多文化共生の推進にも努めてまいります。

これからも、北九州市の歴史や DNA を守り、引き継ぎながら、世界に先駆けて新たなことに挑戦し、さまざまな課題を克服することで、持続可能で住みよいまちづくりを実現するとともに、その解決の道筋を国内外に示し、世界の未来に貢献していきます。

今年度、北九州市では世界のトップチームが参加するバレーボールネーションズリーグ 2024 の予選グループが開催されました。北九州市ならではのエコフレンドリーな国際スポーツ大会として、フードロスを減らすため、弁当の代わりに街中の飲食店で使えるミールチケットを配布したほか、応援グッズ「スティックバルーン」のリサイクルにも取り組みました。

これからも、若者たちに人気のスポーツであるパルクール世界大会や、2年連続開催となるツール・ド・九州など、国際的なイベントを多く開催します。

今後、国際的にも挑戦を続ける北九州市の取り組みにご注目ください。